

☆美術館学芸員の仕事

- 1 調査研究：作品の調査・研究を行う
- 2 資料収集：資料収集・作品収集を行う
- 3 保存管理：作品を修復し保存管理する
- 4 展示公開：テーマを決め展示公開する
- 5 教育普及：興味を促す企画・普及活動

しらべる 調査研究

- ・収蔵されている貴重な作品について、誰がどの時代に制作したのか、どのような材料を使用したのか等、作家本人や関係者からの聞き取り、様々な文献から調査し、論文、報告書の形にすることも美術館学芸員の仕事のひとつです。

あつめる 資料収集

- ・当館では、沖縄の美術を支え発展させてきた美術家たちの平面美術（絵画・版画・デザイン）をはじめ、立体芸術（彫刻・オブジェ、複合作品等）映像芸術（写真・映像作品）を中心に作品収集を行っています。

まもる 保存管理

- ・収集した作品は、傷みがある場合も多く、学芸員はそれらを修復していくための作業計画を立てます。その計画に基づき、汚れを落とすための洗浄や色を補う補彩作業等を行っています。理想の状態まで補修した後、その作品に適した温湿度の収蔵庫で作品を保管しています。収蔵庫は、24時間、365日適正な環境を保つために常に温湿度や害虫の侵入等をモニタリングしています。

みせる 展示公開

- ・作品をどのようなコンセプトで展示し、来訪者にわかりやすく伝えるかを考えるのも学芸員の仕事です。展覧会のテーマを決定し、それに沿って展覧会の構成、レイアウトを作成します。当館は、沖縄にゆかりのあるアーティストによる作品を中心に、歴史的な観点で捉える展示や表現の多様性を中心に展示を行っています。

つたえる 教育普及

- ・教育普及は、美術館にまだ足を運んだことのない方に、いかに美術に興味を持っていただくかを考え、足を運ぶきっかけづくりを行う仕事です。出前授業やミュージアムツアー、展覧会関連のシブジウム、OKINAWAワークショップなど、様々なことを企画・運営し、広報活動を行っています。